

第 33 回日本疫学学術総会 疫学セミナー

テーマ 「疫学者のための混合研究法」

日時 2023 年 2 月 1 日 (水) 13:00~15:45

会場 アクトシティー浜松 コンgressセンター 41 会議室 (学術総会 B 会場)

開催形態 現地会場 (定員 350 人) + オンデマンド

座長 井上 真智子 先生 (浜松医科大学地域家庭医療学講座特任教授)

講演 1 「ヘルスリサーチにおける混合研究法の有用性」

抱井 尚子 先生 (青山学院大学国際政治経済学部国際コミュニケーション学科教授)

日本混合研究法学会初代理事長

主な著書: 混合研究法入門: 質と量による統合のアート. 医学書院, 2015.

講演 2 「Mixed Methods Research (MMR) におけるクオリティ(質)の基準」(概要通訳あり)

ジョン・W・クレスウェル先生 (ミシガン大学兼任教授、混合研究法プログラム)

国際混合研究法学会 (MMIRA) 創始者

主な著書: Designing and Conducting Mixed Methods Research. SAGE, 2018.

A Concise Introduction to Mixed Methods Research. SAGE, 2015.

30 Essential Skills for the Qualitative Researcher. SAGE, 2021.

廣瀬 真理子 先生 (関西学院大学)

主な著書: ジョン・W・クレスウェル著. 質的研究をはじめのための 30 の基礎スキル: おさえたい実践の手引き. 新曜社, 2022. (翻訳)

実例紹介 1 地域包括的緩和ケアに関する介入プログラムの効果

森田 達也 先生 (聖隷三方原病院副院長、緩和支援診療科)

Morita T, Miyashita M, Yamagishi A, et al. Effects of a programme of interventions on regional comprehensive palliative care for patients with cancer: a mixed-methods study. Lancet Oncol. 2013 Jun;14(7):638-46. doi: 10.1016/S1470-2045(13)70127-X.

の紹介

実例紹介 2 アドバンス・ケア・プランニングのタイミングの認識

宮下 淳 先生 (福島県立医科大学白河総合診療アカデミー教授)

Miyashita, J., Kohno, A., Shimizu, S. et al. Healthcare Providers' Perceptions on the Timing of Initial Advance Care Planning Discussions in Japan: a Mixed-Methods Study. J Gen Intern Med. 2021; 36, 2935-2942. <https://doi.org/10.1007/s11606-020-06524-4>

の紹介